

クールジャパン拠点構築検討会について

1. 経緯

- ・ クールジャパン戦略の深化を目的として、昨年1月より官民で議論を重ね、同年6月に取りまとめた「クールジャパン戦略官民協働イニシアティブ」の中で、情報の集積・発信拠点の構築を目指す民間の取組を政府が連携して支援する旨が記載されたところ。
- ・ また、昨年12月、官民のクールジャパン関係者参加の下、「クールジャパン官民連携プラットフォーム」が設立され、官民一体となってクールジャパンを推進する体制が構築されたところ。
- ・ 更に、本年5月9日に取りまとめた「知的財産推進計画2016」において、官民連携プラットフォームの下、クールジャパン拠点に必要な機能の明確化や、効果的な情報発信が可能となる方策を検討する旨が盛り込まれたことを受け、本検討会を立ち上げたところ。

（「知的財産推進計画2016」抜粋）

同プラットフォームの下、アニメなどのポップカルチャーから文化芸術等までの幅広い我が国の魅力を効果的に発信するとともに、文化産業を含めた新たなクールジャパン関連産業を創出する観点から、羽田空港跡地等におけるクールジャパン拠点の構築を目指す民間の取組を後押しするとともに、こうした拠点間のネットワーク化に取り組む。このため、拠点に必要な機能の明確化、拠点間のネットワーク構築等効果的な情報発信が可能となる方策を検討する。

2. 進め方（案）

- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えて民間等で計画中のプロジェクト（以下参照）を念頭に、クールジャパン拠点に求められる機能等を検討。

（1）羽田

- 羽田空港跡地第1ゾーンにおいて、「新産業創造・発信拠点（産業交流施設・おもてなしエントランス）」の形成を目指す再開発計画が進行中。
- 羽田空港に近接する立地特性を活かし、訪日外国人やビジネス客などの来訪者に対し、日本の魅力をクールジャパンとして発信すること（クールジャパン発信の拠点化）を検討中。

(2) 竹芝

- 竹芝地区において、複数の都有施設の移転・更新等を契機として、当該都有地の一体的活用を含めた都市開発が進行中。
- 当該地区において「デジタル×コンテンツ」産業拠点を形成するため、一般社団法人 CiP (Contents innovation Program) 協議会が設立され、現在、複数のプロジェクトが進行中。

(3) 所沢

- 所沢市において、所沢市と株KADOKAWA が共同で、文化と自然が共生した地域づくり (COOL JAPAN FOREST 構想) が進行中。
- 株KADOKAWA の新しい製造・物流拠点とともに、図書館・美術館・博物館を融合した施設を建設し、クールジャパンの総本山と言える文化コンプレックスと街づくりの実現を目指す。

- ・ また、全国に点在するクールジャパン拠点に関する調査を実施するとともに、その結果に基づき、拠点間のネットワーク構築等、効果的な情報発信が可能となる方策を検討。

3. スケジュール (案)

第1回 (5月12日)	羽田、竹芝のプロジェクトに関するヒアリング 自由討論
第2回 (5月31日)	所沢のプロジェクトに関し、株KADOKAWA よりヒアリング 自由討論
第3回 (6月17日)	中間とりまとめ (案) について議論
第4回以降	調査を基に、拠点のネットワーク化について議論
年末	最終とりまとめ